

シルバー ところざわ

◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター広報部会 1999.4月15日発行

No.66



会員作品展

素晴らしい作品ぞうり



今年は例年の「ふらつと」から会場を中央公民館に移しました。



一月二十五日、中央公民館二階ホールで会員の作品展が催されました。今年は会場もゆつたり、出展も増え、写真、書、絵画、手工芸品など素人ば

なれの芸術品がぞうり、来館者を喰らせました。この中で油絵かとまぎらう様な素晴らしいちぎり絵を出品された宇田陽子さん(写真)は、ち

念、たまたま文化祭で見たちぎり絵に魅せられ、繊細な手芸美術に転向した由。また来年の作品展でもみごとなちぎり絵で楽しめて下さい。

就業機会開拓専門員

積極的な就業開拓の展開

(緊急雇用支援事業)

21世紀の本格的な高齢者社会に向けて、シルバー人材センターは高齢者が働くことを通じて、社会参加と、自らの生きがいの充実を図る場として、その社会的役割はますます重要と成っております。

平成10年は金融機関の不良債権問題や企業のリストラ、また失業率の上昇など、社会経済環境のもたらす影響は大きく、発注先ではシルバー会員の就業の打ち切り、民間事業所が「生きがい就業」の場として参入してくるなど過去には考えられなかつた厳しい状況となり、この様な雇用情勢の悪化により就業の場を求める高齢者がセンター会員として登録希望する数が増えております。こうした深

刻な情勢下において、緊急に臨時の・短期的な就業機会の確保に全力をあげることが重要であります。そのため新たに就業機会開拓専門員を配置し常に地域社会に役立ち、会員が生き生きと働ける対策の一環として

3名の開拓員が市内事業所へパンフレットを持参訪問、また一般家庭へもポストへの配布など発注のお願いを致しました。

なお、成果も発注者より受注方法についての問い合わせも数多くあり、センター活動が各方面に浸透してきたのではないでしょか。是非会員皆様心より開拓員3名の方にエールを送つてください。

(事務局次長

山川記)

就業機会開拓専門員の事業実施報告

配 置 期 間	平成11年1月4日～ 平成11年3月31日（3ヶ月）
1月 4日～1月 8日	講習会（講師…伊藤副理事長 ・担当職員）
1月 11日～1月 14日	訪問先リストアップ、 協力依頼文作成(所沢商工会議所協力)
1月 18日～1月 22日	企業訪問の際の接遇研修
1月 25日～	随時訪問

3月18日現在実績

訪問件数	188件
受注件数	8件
就業延人員	32名
契約金額	463万4千円
その他の	住宅ポスト訪問 (シルバーPR用チラシ4,800枚) (今後受注予想件数 9件)

深刻な情勢下のなか高齢者の失業の減少のための対応策として、国家的課題に取り組む必要がある事から「シルバー就業機会開拓プロジェクト」事業を実施し、具体的措置として全国一、一九四団体51万人のシルバー会員に対して臨時の・短期的な就業機会を提供するため、

これにより、ハローワークから2名と当センターより事業部会員1名をもつて組織し開拓を行いました。（詳細は左のとおり）これにより、専門員として雇用し高齢者の就業機会の開拓に努めることとなりました。

この委託を受けて就業機会開拓専門員として雇用し高齢者の就業機会の開拓に努めることとなりました。

講演会「シルバーイエイジを生きる」

講師 早稲田大学教授 上里一郎氏

あがりいちろう

当シルバー人材センター主催のシニアワークプログラム講演会が、去る二月二十四日(水)、午後一時三〇分から所沢市保健センター多目的ホールにおいて、早稲田大学人間科学部(健康心理学研究室)上里一郎教授をお迎えして行われました。

当日は、生憎な冷たい雨で、春は名のみを実感するほどでした

が、会員はじめ一般市民の皆さん

が多数参集され、上里教授の演目「シルバーイエイジを生きる」に熱心に耳を傾けました。

講演の冒頭での自己紹介で、上里(あがり)と読む名字にちなみ、テレビドラマの出演者に関連させ、広島県の三次の出身であると言わされたことで親近感をもたれた会員も多かったようでした。

講演内容は、まとまつた話といふことではなく、いくつかの方々を素材としてシルバーの各人が生じ方を考える、という構想です。工ビソードが紹介され、それをすめられました。また、教授が

実施された高齢者対象の調査内容と患者に接しカウンセラーをされた経験を通じて得られた事柄を生かした話され、シルバーイエイジの皆さんにとり、これら的生活の一助となれば幸いで

す、と言われました。

さて、今まで各種企業、官公

庁などの組織体に生きる一員が定年退職により現場を離れた後、どう生きるか?一生のうち

で、進学・就職については、各自が従来所属していた場で、良き指導者の手により援助されたが、定年後は個人行動をとらなければならなくなる。自分や家族のためにどう生きてきたかの歴史を振り返って総括することは、以後の生き方にとり有益となるのです。

このあと、スライドフィルムを通して、著名な五人の方々の作品、エピソードを紹介されました。

一、乙川優三郎氏の「霧の橋」

(講談社版)を引用され、一ノ関藩士の次男坊の人生遍歴にふ

れ(仇討ち・武士から商人へ)、糸余曲折はあつたが無駄ではなかつた、と思えるようになつたという。

加えて、最近のアメリカ社会

の問題点として離婚率五〇%と

なり、家族崩壊の深刻な問題に

ふれるとともに、育児を通して自尊心を育てるとの必要性を

問う。また、貰めて育てるこ

の大切さと、肯定的に物事を考

えの必要性をも強調されました。

二、シルバーイエイジの課題(エリクソン氏)

精神分析学者である彼は、人生には八つの関所があるという。ここでは、最初と

五才で自分の人生を顧みて、冷

静に眺め、肯定的に評価できる

か?(否定的に見ないこと)。自

分の生き方を見直すことができ

るようになれば良いので

△最後の関所は、統合性を身につけること。だれでも六五・七年才で自分の人生を顧みて、冷靜に眺め、肯定的に評価できるか?(否定的に見ないこと)。自分が生き方を見直すことができるようにしたい。

そうでないと、絶望感にとら

われ、自分が嫌になり、不平だ

らけの人生になる。こうなると死ぬに死ねない。

自分の人生を見直し、目標を

立てるこことや人を信頼すること

を身につけた者は幸せなので

す。黒沢監督の「生きる」を想

起してみて下さい。定年間近い

市役所の課長は、癌に罹りながら、公園造りに懸命になる。

あの哀愁をおびた「命、短し」

の歌を思い出す人が多いこと

でしょう。ひとつ目の目標を持ち前進することが大切なことです。

三、フランクル氏(ウイーン大

学精神科医で、数回来日され、上



ふれ、致死的な病に冒されながら看護教育に一生を捧げてきた看護婦長。ウェイン大学付属病院には沢山の教え子が働いている。このように聞いた、死を迎える手本を示された看護婦長のすばらしさに感動する。

▽「死に甲斐」は余生をどう生きるかにかかっている。明日の運命はわからないので、各自、身辺整理をしておきたいものです。

四、画家三橋節子氏（一九三九）（一九七五）京都市立芸術大学卒業、新制作展受賞（大津市に美術館がある）。

一九七〇年長男草麻生誕生、翌年長女なづなを出産し「よたかの星」を描く。一九七二年「鬼子母神」長女「なづな」を描く。一九七三年右肩鎖骨腫瘍（癌）の手術で右腕切断、左手で「湖の伝」を描く。一九七四年「鬼の星」を描く。一九七五年「母子像」等を残す。

晩年には「余呂の天女」を遺す。絶筆となつた作品で、昇天した母親とそれを見守る子供を描く。子供の表情は寂しそうで胸をうつ作品である。スライド写真での鑑賞補足説明があり、作品を見て、どう考えるかは自由である。正解はないのだから」といわれました。

去る平成11年1月28日（木）から29日（金）に西部ブロック事務局長及び福祉・家事援助事業コーディネーター県外研修が実施され、矢島事務局長と共に私も参加させて頂きました。

今回は、埼玉県西部にある18市町のシルバー人材センター（以下SCといふ）が、福祉・家事援助事業の先進SCである大阪府柏原市SCを訪問し、視察研修が開催されました。

訪問した柏原市は大阪府の中河内地域の大坂都心から南東へ約20kmのところに位置し、府下でも有数の緑豊かな市です。市内には府下で2番目に大きい大和川が流れしており、大阪湾に注いでいます。柏原市の人口は、七九、九六四人（65歳以上は、九、九四〇人（高齢化率12.43%）です。中小企業団地では、地場産業の浴衣（全国の90%）を生産していく、季節限定で受注がおり会員の方が就業されているそうです。

福祉・家事援助サービス事業は、平成4年よりコーディネーターを設置し、事業を推進してきましたが、新ゴーレッドブ

県外視察研修に参加して

▲埼玉県西部ブロック事務局長研修▼

五、「象さんのお団子」北杜夫氏訳▽命には限界がある。段々減つてなくなる。死は隣にある。逃げるわけにはいかない。

◎毎日、どう生きるか。何をして生きるか。

◎一人一人に希望の「窓」が開いている。

◎その窓を探して、大事にしたい、という生き方を述べている。

結びとして教授は、シルバーでエイジを生きるうえでハッピーだと思うこととして、次の五点をあげられた。

- ①慢性疾患がないこと。
- ②経済生活が保障されること。
- ③長く続けられる社会参加をすることができるること。
- ④家族の情緒的な支援があること。
- ⑤友人などの支援が得られること。

いことが三つあると言われました。
①沢山の経験があること。
②時間があること。（余暇の善用）
③経験との関係で、理解力、判断力があること。
以上のものを、自分のために生かすことは他人のために生かされることになると結ばれました。

（三田記）

ランの実施によるホームヘルパーの充実、病院における完全看護体制の実施により、事業拡大が難しい状態であつたため、平成10年度よりシルバー人材センター主催による技能付与講習会、特に3級ホームヘルパー養成を10月5日～11月12日（10日間）と1月27日～3月11日（10日間）の2回開催していらっしゃいました。

研修当日（1月28日）も別室にて講義が開催されておりました。この講習には、25名の会員（男性を含む）が参加されてい

恒例の清掃奉仕作業が平成11年3月12日(金)に所沢市役所周辺歩道および側溝清掃の内容で実施されました。当日は寒さが厳しい中、88名もの多くの会員の方々にご参加頂き、四グループの組に分かれ、慣れない熊手や穴堀り機を手に側溝をひとつづつ開け丁寧に落葉やヘドロ等をとりました。

未就業会員中心に実施

すると一六〇個余りもあつた側溝も会員一人一人の大変熱心な活動により一時間半程でみるとうち落葉ひとつ無い位になりました。道路維持にたずさわる市職員も同行して頂きましたがこれにはびっくり、改めてセンター会員の奉仕作業、強いては仕事に対する前向きな姿勢に感動された様子でした。

貴いシルバー理事長の挨拶と職員の説明を聞いたあと、4班に分かれて作業を開始。

作業内容は、航空公園駅前から、所沢警察署前までの歩道にある深さ1メートル、縦横5センチメートル程の排水マスに溜った落葉清掃です。私達の班は駅前から国道までの西側の歩

道マス掃除です。
「吹き寄せて春寒と言ふ塵少し」
歩道表面は吹き寄せられて落葉が無くきれいに見える。
しかし排水マスには、一杯に落葉が溜つており大きなゴミ袋化している、そのうえ排水管にまで落葉が詰まっているのでこ

て、平成9年度82名だった福祉・家事援助事業希望会員も現在約150名に拡大したそうです。将来は、2級ホームヘルパー養成講習会を開催したいとのことでし
た。また、「在宅支援以外に、柏原市民病院での家族が出来ない場合の洗濯、食事の世話などの手伝いや、ホームヘルパーで出来ない部分を請負つていらっしゃるそうです。

事務局運営や今後の展望なども視野に入れた討議、将来を見据えた事業展開に基づいた講習会を含めた視察研修には、唯、感心するばかりでした。

大きく上回っています。これは、地域老人クラブを媒体とした入会活動が功を奏しているとのお話をうかがいました。

ボランティア清掃に参加して

池田重功



ターも新年度を迎える、福祉・家事援助事業活動として料理講習会、福祉サービス講習会など企画・開催していくますので積極的にご参加いただきますようお

願いして、視察研修の報告と致します。
（福祉・家事援助サービスコー
ディネーター 斎藤小枝美記）

れは大変、頑張らなくてはなかなか終わらないと思いました。作業が始まると驚いたことに、顔も名前も知らない同志が力を使わせ宝物でも掘り出すかのように皆まじめに働くのです。周囲を見ると、休んでいる人は一人いません。45個あつた排水マスと排水口を一時間半

投稿 ザ・チャレンジ（挑戦）

沓澤 勝美

○働いた勲章ですよ曲がりたるこの手この指われ大工職

建設産業（建築大工）に従事して、はや四十五年、私も六十歳となり還暦を迎える年になりました。一筋の人生を振り返り、いろいろな事が思い出されます。最近の不況リストラをまともりに受けても職人には定年なし。灰になるまで現役と注文建築にあくまでも固持し続けようと思います。必ず私の出番がある事を信じ続けようと身体をきたえております。

21世紀は、ベテランの時代になります。からの第二の人生の始まりです。若い時に重量物「二階梁」を持ち腰を痛め下

程で清掃が終わった時、寒いのに汗をかいているのに気が付きました。久し振りに良い汗をかきました。一人平均、約二個のマスを清掃したことになり、私は一人でしていたら、半日はかかりましたと 思います。作業終了後、航空記念館の駐車場に集合した時は喉が乾いていました。軽い

半身マヒの状態が一年間も続き、治療リハビリで始めた歩行訓練がジョギングになりマラソンになりました。所沢ひこ一きマラソンは毎年の参加です。また、今年2月7日、彩の国さいたまマラソンに挑戦しました。数年前38キロメートルまで走りました。4時間20分のかべもあります。完走を目指に身体をきります。冬枯れの彩の国より遠方に裾まで白き富士の山見ゆ。

○夢は夢われ牧水と春を詠む旅人を押す富の木匠

趣味で始めた言葉あそび「失礼かな」31文字にこだわりを持ち、若い旅人「平成10年没」若山牧水の長男、近藤芳人先生など建築家出身の歌人がいます。の喜怒哀楽、春夏秋冬の自然なります。

いました。一緒に班女性から声掛けられ振り向くと、飴を差し出してくれました。飴をいたしました。一人平均、約二個のマスを清掃したことになり、私は一人でしていたら、半日はかかりましたと 思います。作業終了後、航空記念館の駐車場に集合した時は喉が乾いていました。軽い

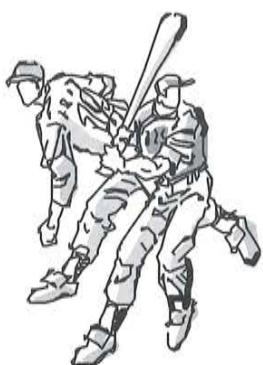
今回のボランティアに参加して感じたことは、「案するより生むが易し」と言う諺はのことだなと思いま

詠、雪月花、見るもの聞くものすべてを師として「吾以外皆師成」吉川英治の言葉を座右の銘として、還暦60歳を記念に処女歌集を出版したいと思っております。むずかしい言葉を使わず言葉にリズムを持ちだれにでもわかりやすい詩歌にチャレンジして素人のおそろしさ、「31文字ならべてみよう」の感覚で歌を詠んでみたいと思い勉強している昨今です。先生を始め先輩のみなさん、よろしく御指導をお願いします。最近詠んだものです。

○どれくらいの速さで生きたらいいんだろう道は一筋かたつむりに聞く。

○なやみ事背負いて生きるかつむり世界の子等に語る人あり。

○秩父には武甲の山がよく似合う赤い柿の実三つ残して。



・一人では躊躇してできないこと
・大勢で働いていると体を動かすことが苦にならないこと
・人から教わることが多くあること

・利益を追及しない仲間は上下関係が無く、和気あいあいとしていること
・社会の役にたちたいと考えているがチャンスが無い人が居ること
・シルバー人材センターから案内がなければ一人では出来ない経験ができ、シルバー人材センターに入会して良かったと思いました。

今後もシルバー人材センターの事業や親睦会に積極的に参加したいと考えた一日でした。

△会員安全就業推進員▽

安全研修会に参加して

去る二月十八日・十九日の両日、千葉県幕張市の海外職業訓練センターにおいて行われた、全シ協主催の「安全研修会」に参加してまいりました。

全国から各センターの安全就業推進委員が集まり、会員事故の実例を討論したり、どうすれ

ば事故が防げるかという問題を話し合いました。

特に印象に残った話として、就業中の事故は減っているが、就業途上の事故が増えているということです。シルバー人材センターの仕事の特徴は、就業日や就業時間が

タイルの壊れた所など翌日セメント持つてくるとかで、まとまつたことができますし、草取りでも今日中になど無理しないで済みます。それにちょっと長い旅行にも行けますしね。

新所沢公民館のMさんはここに勤めて九年になる。正規の職員は館長を含めて七名、それに嘱託や臨時の方数人とシルバーサン。皆いい人たちだから、何の気兼ねもなく、私もこんなに長く勤められたとのお話しでした。

Mさんは、永く教員を勤められ偶然の経緯から全く畠違いの職場に勤める事になった訳は：初めは臨時のつもりだったのですが、ここの方々が皆いい人で、私が自分で希望したので

所沢市には住民の集会や社会活動の拠点として11の公民館があり、それぞれが地域に親しまれて利用率は高く、申込むのに苦労する程ですが、こうした公民館の人気を支えている職員に混ざって下支えをしているのがシルバーさん。朝八時半に来て、館の内外の掃除から草取り、壊れた椅子の修繕、男女便所の清掃まで、きれいに使いたい館を維持する事なら何でもこなし、三時半まで、午前三時間、午後三時間勤務します。これを二人で組んで交替で勤めます。

一週間交替にしてます。それで、話し合って今私たちちは原則、Mさんは植木が趣味、職場に彩りを添えている。絵も得意で

様々であったり、仕事によっては毎日就業現場が変わることもあるなど、仕事がとても不規則なところです。

それに、加齢による体力の低下も伴い、それらが事故発生の原因になつていると考えられます。全国的に、高齢者の交通事故は年々増える一方で、特に自転車と歩行者の事故が多いそうです。

は、今回の安全研修会の内容を検討し、今後の会員事故防止と、年間事故ゼロのために役立てたいかと思います。

(会員安全就業推進員 新井記)

会員の皆様も、就業現場まで自転車をご利用される方も多いかと存じます。くれぐれも、行き帰りの交通事故には注意し就業中は安全運転を常に心掛けましょう。また、安全就業推進委員会で会員安全就業推進会の内容を検討し、今後の会員事故防止と、年間事故ゼロのために役立てたいかと思います。



先月の会員作品展でみごとな油絵を鑑賞された方も多いはず。

Mさんは地域の老人会もお世話をされ、奥様も障害者のボランティアをされているとか。老後をいきいきと活動されるガツツなシルバーさんでした。

お知らせ

▼平成11年度定期総会開催日程
(予定)ご案内

会場 平成11年5月28日(金)
午後1時30分より
エスポワール「晨麗苑」
なお、総会終了後懇親会(会費)

2月に開催しました料理講習会には、多くの皆様(男性の方々にも)にご参加いただき、ありがとうございました。好評

千円)を開催します。ふるってご参加下さい。

▼料理講習会の開催について

各教室の生徒を募集します(当シルバーの独自事業)
【おさらい教室】基礎学力の向上

コース	科目	曜日	時間	授業料(月)
小3	算数	水月	午後4時30分~5時30分	5,000円 (2教科)
小4	国語	水月	午後5時35分~6時35分	7,000円 (2教科)
中1	数学英語	木		
中2	数学英語	水金	午後7時~8時30分	10,500円 (3教科)
中3	数学英語	水金月		

*中学の部は1教科3,500円選択・設定自由。また、中3は、夏・冬期特別講習を実施

【書道・筆耕・英会話・茶道教室】

コース	科目	曜日	時間	授業料(月)
一般	A漢字	火	午前10時30分~正午	3,500円
	C筆耕	火 第1・3	午後1時30分~3時	3,000円
	E漢字	木 第2・4	午前9時~ 午前10時30分	2,000円
小学	B漢字	火	午後4時30分~6時	2,500円
一般	英会話	水木	午前10時~正午	4,000円
一般	茶道	第2・4	午前10時~正午	2,000円

申し込み・問い合わせは、事務局まで

かさかさと音する土手に目をやれば手足のばして蛙行く
乙女達色とりどりの袴姿まぶしさ輝き晴れの門出

短歌

卒業の若人達と手作りのベンチで味わう午後の幸

三村絹代

につき、平成11年度も左記のとおり開催いたします。健康のための料理作りを楽しく学びます。広くて、きれいな会場です。

日時 平成11年6月18日(金)
午前10時~午後1時

場所 所沢市保健センター

人員 先着50名

会費 無料

講師 所沢市役所
栄養士 井上幸子先生

※申込みはセンターセンター事務局まで

▼婦人部、日帰り研修旅行開催について
恒例の婦人部日帰り研修旅行を左記のとおり開催いたします。素晴らしい設備のゴミ清掃工場の見学と、美術館を楽しみましょう。

日時 平成11年6月22日(火)

行先 越谷市第一清掃工場

集合 旧庁舎東口玄関前

時間 午前8時45分集合

人員 先着35名

参加費 2,200円

※申込みは4月15日よりセンター事務局にて受け付けています。

▼広報部会員募集

広報紙「シルバーところざわ」の広報部会員を募集しています。みなさんの広報紙です。奮ってご参加ください。お待ちして

おります。(男女を問いません。)お問い合わせは事務局名古屋係長まで。

あとがき

巡る春
永い灰色の冬も去り、暖かい春の温もりを感じる今日この頃、長生きしていく良かつた等としみじみと喜びを感じるものこの頃の季節です。

皆さんも思い新たにして健康で長生きを心がけましょう。思い新たに迎えたいものですね。これからもお互いに頑張りましょう。

冒頭のお知らせの通り現在会員数も千名を優に超え、就業状況も一段と厳しくなつております。世間は相変わらず不景気風が吹き荒れておりますが、事務局・事業部一丸となつて新しい就業先の開拓に懸命です。

ご声援を期待しております。親睦会発足を間に控え、参加希望の方も順調に伸びております。

これからのご協力おねがい致します。

(五社記)